

陽光祭

9月13日（金）に令和元年度泉陽中学校陽光祭が行われました。泉陽中学校最後の陽光祭を盛り上げる活動として、生徒がデザインしたTシャツを生徒、職員で着用して参加しました。



今年度の陽光祭スローガンは「Last Stage 感謝を込めて 全力疾走 努来勝！」です。このスローガンには、仲間や先生、保護者や地域の方々、泉陽中学校への感謝を全力で競技を行うことによって表現したいというメッセージが込められています。また、スローガン最後のフレーズ「努来勝」は「どっこいしょ」と読みます。これは、本校伝統のソーラン節の掛け声です。最後の陽光祭でも先輩から受け継いできたソーラン節を必ず成功させたいという想いをスローガンに込めました。



ソーラン節の練習は7月から始まります。本校のソーラン節の特徴は2・3年生が1年生に一から全て踊りを教えることです。昼休みに9つのグループに分かれ、各グループのリーダーが練習内容を考えて練習をします。練習が始まった当初は、1年生と3年生の間に意識の差がありましたが、3年生が一生懸命教える姿を見ていくうちに1年生はそれに必死で答えようとするようになっていきました。

当日の演技では、3分33秒間、全員が全力でやり抜くことができました。今年で10年目を迎えた泉陽中学校のソーラン節。その伝統は「3年生が先輩から受け継いだソーラン節を確実に下級生へ伝える」こと、「下級生がその魂をしっかりと受け継ぐ」ことだと思います。「残す 繋ぐ 泉陽魂」を体現した素晴らしい陽光祭になったと思います。



（体育主任 宮本敬利）